

会 議 録

会 議 名	第2回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会
日 時	平成31年2月19日(火) 10:00~11:00
場 所	八王子市学園都市センター 第1セミナー室
参加者氏名	参加者 小根山裕之座長、山崎勲介、宮瀬睦夫、田口秀夫、深沢靖彦、伊東寿、原清、吉川真実、佐藤彰恒、佐竹恭周、井上喜央、露木輝久、下田直啓、市川明広(中村亘登)、小林弘樹、臼井賢二、守屋和洋、廣瀬勉、太田國芳、佐久間寛、西山忠 ※()は代理出席者
	事務局 【都市計画部】 交通企画課長：山崎泰弘、交通企画課課長補佐兼主査：染谷祐介、交通企画課主査：関口和孝、交通企画課主任：三ツ木芳彦、交通企画課主事：畠山陽平 【道路交通部】 路政課長：水上太一 【拠点整備部】 市街地整備課長：和田隆、事業推進担当課長：渡部哲也
欠 席 者 氏 名	杉浦貢、田崎達久
議 題	(1) 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱の一部変更について (2) 資料説明 ・第2回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料
公開・非公開・別	公開
非 公 開 理 由	—
傍 聴 人 の 数	なし
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 出席者名簿 ・八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱(一部変更) ・資料1：第2回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料 ・参考資料1：サイン整備方針 ・参考資料2：貨物集配中の車両に係る駐車規制について

1 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱の一部変更について

【事務局】（「八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会 開催要綱（一部変更）」に基づき説明。）

【参加者】 要綱の変更について、実態に合わせて事務局を強化したということであるが、異議はあるか。

【参加者】 異議なし。

2 八王子駅周辺における取り組みや交通面での課題などについて

【事務局】（「資料1：第2回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料」および「参考資料1：サイン整備方針」、「参考資料2：貨物集配中の車両に係る駐車規制について」に基づき説明。）

【参加者】 事例紹介の「事例1-1」および「事例2-1」について、情報提供させていただく。

・事例1-1 湘南台駅の路線バス混雑緩和対策

もともとは区画整理で整備された駅前広場であったが、平成11年の相模鉄道と横浜市営地下鉄が相次いで乗り入れたことにより、当初想定されていなかった容量に乗降客が増えた。

最寄りに慶應義塾大学の湘南藤沢キャンパスがあり、バス利用者が増えたため、西口の交通広場に6バースあるが、飽和状態となっている。そのため、今年の5月より一部の路線を東口に変更している。

西口から東口に変更したバス路線は、企業の工業団地線である。出発地から近い駅間広場に乗り入れることが原則であるため、闇雲に変更すると利用者から反発がある。変更の際は、工業団地の各企業に市が調整を行い、変更した経緯がある。

・事例2-1 戸塚駅（西口）：路外の一般車乗降場スペースの確保

戸塚駅西口の再開発事業で整備されたものである。整備前は商店街があり、一般車の寄付きもない状態であったが、区画整理に伴い、少し離れたところにバスターミナル、駅前直近の都市計画道路上にバスの降車場、一般車の乗降場として区役所の1階を整備している。

一般車の乗降場は少し駅から離れていることもあり、雨天時は利用が多いが、晴天時は路線バスの降車場で乗降してしまっている。一般車の乗降場の整備にあたっては、周知方法や利用者の動線などを考慮したうえで検討されるべき。

【事務局】 今後の検討の参考とするために、事例の紹介をさせていただいた。事業の実施にあたっては、合意形成が非常に重要になってくる。また、一般車乗降場を整備しても、鉄道駅から離れることで利用されなくなってしまう。周知の方法や動線アクセスなど、今後八王子市でどのようなことができるのか、検討していきたい。

【参加者】 いずれにしても、事例をそのまま当てはめればうまくいくものではない。参考としながら八王子駅周辺で何ができるのか検討すべきだろう。

【参加者】 一般車の寄付きについて、現在八王子駅北口地下駐車場は15分無料であるが、間違っって入った方のための対策であるとの説明があった。以前、八王子駅周辺の交通について検討した際に、一般車寄付きの要望が多く、地下駐車場で実証実験を行った経緯

がある。実証実験の結果、ほとんど使われなかったと市から回答を受けたが、おそらくPR不足だったのではないか。八王子駅北口には一般車の寄付き場がなく、商工会議所にも要望がある。地下駐車場の一部を乗降場所とし、PRしてはどうか。

【事務局】一般車の寄付きについては、様々なご意見を市にもいただいているところである。短期・中長期的にできること、今後の再開発に合わせてできることなど様々あるが、一般車の寄付きについては、地下駐車場の利用も含め、本懇談会で検討を行い、方向性を示したいと考えている。

【参加者】地下駐車場の寄付きについては、何度も確認している。時間帯によってかなり差があるが、午前8時以前に障害者用駐車スペースがある付近で、学生の送迎などが発生している。1分間に4、5台程度の車両が短時間の停車で乗降する状況が頻繁にみられるため、かなりの台数が送迎場所として利用しているだろう。

市民に広く知られているわけではないが、知っている方は日常的に利用しており、現実には送迎場所としての機能を発揮している。駐車場内が渋滞している状況は見たことが無いため、まだ余力があるのではないか。すでにあるものを有効に活用するという視点で検討を進めていただきたい。

【事務局】既存の施設の活用や、その他の路外で乗降できる場所も含め、駅周辺の寄付き場について検討していきたい。

【参加者】前回の懇談では南口駅前広場のスクールバス乗り入れについて、駅周辺の道路でスクールバスや企業バスが停車し、交通を阻害しているという話があった。南口の駅前広場は、6学校法人で2つのバスバースを利用しており、この問題について、6学校法人で情報共有を図ったところである。

そこで、路上駐車対策のため上野町の市民会館跡地の臨時駐車場をスクールバスの待機場として提供していただければ、駅周辺で路上駐車することはないと確認が取れている。

実施メニューにおいて、特定車両については、「路上スペース活用による乗降場所の確保」や「駅周辺の乗降スペース確保」とあり、今現在の駅前広場を使うということを含めて検討すべきと思うが、駅前広場以外で乗降場所を確保する方向で検討を進めるのか。

【事務局】上野町の市民会館跡地については、観光バスの駐車場などとして利用されており、条件を整えばバスの一時待機場の候補地の1つとして、活用の可能性がある。

【参加者】スクールバスが八王子駅南口ロータリーを頻繁に使う時間は限られており、午前7時～10時頃までの時間に集中している。観光バスが駅周辺を利用するのは、スクールバスのピーク時間より遅いと思われるため、それほど大きな問題になってないのではないかと考えている。

八王子駅南口駅前広場に乗り入れることとなった経緯は、まちの活性化のため、若い方々に八王子駅を利用してほしいという点から、スクールバスを乗り入れてはどうかという市からの打診を受けたためである。

また、都心回帰ということもあり、一部の大学は交通の便の良い都心に移転している。郊外の学校法人においては、キャンパスの整備やカリキュラムの見直しなど様々な手を尽くしているが、キャンパスから最寄り駅までの交通については、それぞれの学校法人

でできることではなく、市や関係者の協力が必要である。郊外のキャンパスの不利な点は交通アクセスであり、スムーズに通学できる環境を整えていただけるとありがたい。

【事務局】観光バスやスクールバス等の乗降場が不足しているのか調査をしたうえで、路外の乗降場整備なども含め、懇談会で検討していきたい。

【参加者】企業バスがどの程度乗り入れているかについても調査すべきだろう。

【事務局】企業バスの状況について調査しており、スクールバスは南口が多く、企業バスは北口が多くなっている。

【参加者】スクールバスは大型の車両が多く、企業送迎ではマイクロタイプが多い。検討の中で、一律に場所を定めるのではなく、小型の車両であれば細い道でも乗降できるかもしれないが、大型の車両は大きな道路でないと乗降できないため、対応を分けて検討する必要がある。

南口の駅前広場にはスクールバスが乗り入れており、今後スクールバスの乗り入れをやめるという選択肢はないだろう。今溢れている車両の対策をどうするのかという視点で検討を進めていきたい。

【事務局】交通モード別に対応メニュー（案）を提示させていただいたが、次回以降の懇談会では、対応メニューを八王子駅周辺で実施しようとした場合に、どのような課題があるのかを整理し、対応メニューの短期、中長期など時間軸設定などを行っていきたいと考えている。最終的には、参加者の意見を集約したうえで、報告書としてまとめていきたいと考えている。

3 その他

【事務局】次回の懇談会は5月頃を予定しており、後日案内を送付させていただく。